

「瑞穂小だより」

令和5年4月12日
令和5年度 第2号
伊丹市立 瑞穂小学校

<学校教育目標> 『「いのち」かがやく 瑞穂の子 ～心豊かに たくましく～』
－あしたも来たいと思える学校－

令和5年度がスタートしました

3月末で13名の先生がご退職・転勤されました。また、13名の先生を瑞穂小学校にお迎えしました。そして、令和5年度は全校児童568名23学級でスタートしました。

「いのち かがやく 瑞穂の子」を目標に掲げて、子どもたちが自分らしく輝けるように、教職員全員が瑞穂の子の幸せのために「チーム MIZUHO」になって、教育実践を進めます。保護者の皆様、地域の皆様には、これまで同様に、温かいご理解と力強いご支援をお願い申し上げます。

始業式 「いのち かがやく 瑞穂の子 あしたも来たいと思える学校」

7日（金）、着任式と始業式をスタジオからのテレビ放送で行いました。
着任式では、校長先生クイズを出しました。熱心に考えてくれました。

さて、始業式では、「みんなの命が輝き『あしたも来たいと思える瑞穂小学校』を創りましょう」と話しました。瑞穂小学校で一番初めに感動したのは、下足室の上にある横断幕、
「友がいる 明日があるから ゆめかなう」 いい言葉です。

瑞穂小には、一緒に頑張る「友達」、支えあう「友達」がいる。
次に「明日がある」と思うと、失敗しても希望が持てます。
そして、明日もチャレンジしようと勇気を出して頑張ると、夢が
かありません。

そんな学校にするために、「自分から」チャレンジしてことが
2つあります。



一つ目は、「自分から あいさつをする」ということです。

「自分から」あいさつすると、仲良くなるきっかけにもなります。また、お互いが気持ちよく過ごすことも
できます。校長先生も頑張ります

二つ目は「自分から お友だちを大切にすること」です。

今日、新学年になって、新しいお友だちと同じクラスになりました。自分から、新しいお友だちをつくること
ができたなら、とっても素敵です。困っている場合は、自分から、声をかけて応援してあげたら素晴らしいです。
けんかをした時でも、自分に悪いところがあったなと気づいたときは、自分から「ごめんね。」と言えると、
優しい心と強い心がさらに大きく膨らみます。

「あしたも来たいと思える瑞穂小学校」になるために、「自分から挨拶」「自分からお友達を大切にすること」
そして、「明日も友だちと会いたいな」と思える学校にしていきたいと思います。

また、コロナウイルスは、まだ難しい状況です。毎日の健康観察や手洗いはしっかり続けてください。

4月から、マスクは学校ではつけなくても良くなります。つけても大丈夫です。ただ、マスクを着けて学習
する場合もあるので、マスクとマスクを入れる袋は持ってくる等、詳しくは担任の先生の話も聞いて下さい。

今日は、テレビ放送なのでみんなのやる気満々の顔や姿が見られなくて、残念でした。

これからは、教室等で頑張っている皆さんの姿も見に行きます。よろしく申し上げます。